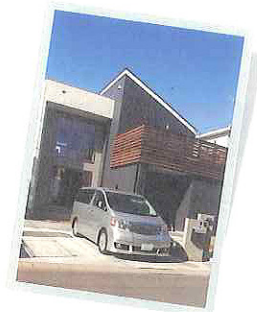


千葉県・株どんぐりの家イニシア

温かさと光に満ちた、 軽やかな木の住まい

太陽が降り注ぐ、大きな吹き抜けのあるリビングと広いデッキ。渡り廊下の休憩スペースや、ブランコのある子供室。家族の夢が膨らむ、遊び心のある住まいを訪ねた。

写真＊相原功



青空によく映える急勾配の屋根と、落ち着いた濃いグレーの外壁が、モダンな印象の外観。

お子さんがおもちゃの車で遊べる広いデッキは、ご主人自慢のスペース。



内装関連の会社に勤務するご主人と、かつて建築関係の仕事をしてきた奥さま。山崎さん夫妻の家づくりに対する希望は、「安全な木の家で、子どもをのびやかに育てたい」そして「通勤にも便利だけれど、閑静な場所であること」だった。そんなインターネットで探し当てたのが、どんぐりの家イニシア。

同社は、平成4年の創業以来、国内各地の材木工場や工務店をめぐる社内研修や、「ちばの木の家づくり推奨店」に認定されるなど、生産者の顔が見える木の家づくりを、精力的に行ってきた。自然素材住宅「どんぐりの家」のモデルハウスを訪れ、木の素材をふんだんに使用した心地よい空間を見た時、夫妻は心を決めたという。土地選びから一緒にスタートし、家づくりに関しても常にいていねいに対応してくれたという営業担当の神戸公治さんと設計担当の中村真弓さんへの、夫妻の信頼は厚い。玄関に入るとまず目に入るのが、奥さまがモデルハウスで一目惚れした半円形のダイニングテーブル。家の中心にあるやさしい曲線が、木の空間によくなじんでいる。キッチン

半円のダイニングテーブルが可愛い。家の中心にあるのでやわらかな木の家の雰囲気より強調している。



ある。「台所作業をする手元を隠したいけれど、子どもの様子にも目を配りたい。そのどちらも解決できなかった」と奥さまは話す。

冬でも暖房なしで 過ごせる家

ダイニングの隣には、開放感のある吹き抜けのあるリビングが広がっている。温かみのあるアカマツの無垢板の床、杉と漆喰の壁の軽やかさが心地いい。大きな窓からはさんさんと太陽の光が注ぎ、どの場所においても明るい日差しを感じられる。さ



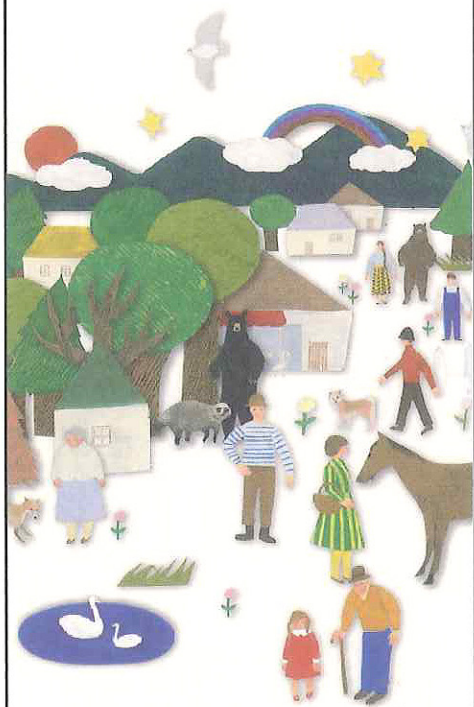
リビングの吹き抜けに置かれた架と、階段の前面四つに区切られた窓のバランスが美しい。

地域に根ざす人たちの、
自由なコミュニケーション広場

チルチンびと 広場

2011年4月1日、
チルチンびと公式Webサイト
オープンしました。

あなたの地域の素敵なお店や
人・モノ・コトを教えてください。



チルチンびと広場

検索

<http://www.chilchinbito-hiroba.jp>

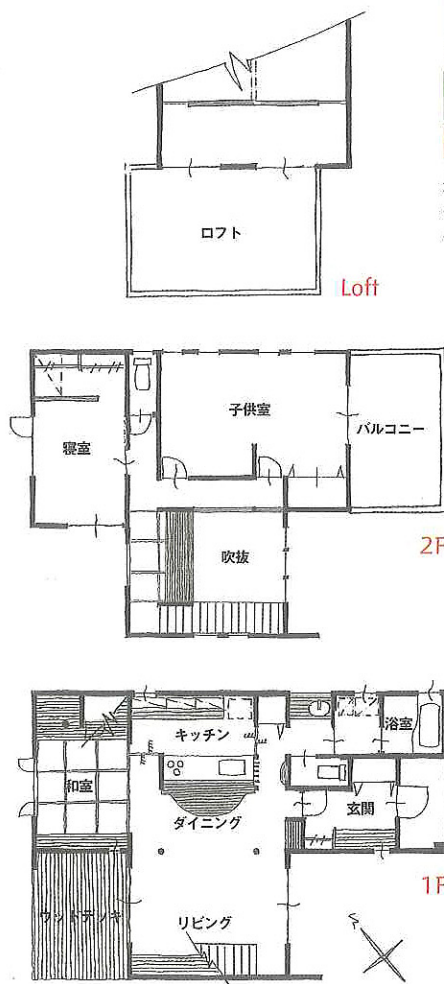
お問い合わせ info@m-ido.co.jp



右上/存在感のある杉の磨き丸太は、京都・北山のもの。右下/縦長の窓とシンプルな灯り、赤茶色の柿渋染めの和紙、そして琉球畳の組み合わせが調和している。左/キッチンから洗面室、浴室までが一直線に見える。



右から(株)どんぐりの家イニシア営業の神戸さん、山崎さん一家、設計者の中村さん。



- DATA**
- *所在地 千葉県野田市
 - *家族構成 夫婦+子ども1人
 - *延床面積 合計=123.79㎡
(1階66.66㎡ 2階57.13㎡)
ロフト9.93㎡
 - *敷地面積 194.09㎡
 - *竣工 2010年9月
(工期2010年4月~9月)
 - *設計・施工 (株)どんぐりの家イニシア
(担当/中村真弓) ☎04-7123-8682
 - *構造形式 木造2階建て
 - *主な外部仕上げ
屋根/平形屋根用スレート
軒天井/ケイ酸カルシウム板
外壁/防火サイディング
 - *主な内部仕上げ
天井/壁/漆喰、珪藻土
床/アカマツフローリング(厚15mm)

らに、リビングに面した広い階段が、木の家のびやかさを強調している。「これだけ大きな空間なのに、『デコスドライ工法』のおかげで、寒さの厳しかったこの冬に、暖房なしでも暖かく過ごせました」というご主人の言葉には驚いた。デコスドライ工法は、どんぐりの家イニシアが採用する断熱工法。古紙などを利用した断熱材・セルロースファイバーを乾

式吹き込み方式で圧送するので、手の届かない場所への充填ができ、隙間からの熱損失を防いで断熱・調湿・防音効果も抜群。このリビングの大きなソファにゆったりと座って、デッキ越しにのどかな田園風景を眺めるのが、ご主人のいちばんのお気に入り。晴れた日には、富士山も見える。今年の夏、ここでバーベキューをするのも楽し

みの一つだとか。2階に上がると渡り廊下を利用して、琉球畳を敷いたくつろぎのスペースがある。子供室は梁にブラコンコをぶら下げたり、ロフトに続く階段がおもちゃ棚になっていたり、あちらこちらに遊び心を取り入れた、楽しい空間が広がる。寝室とトイレは、ご主人自ら珪藻土を塗って仕上げた。内装の仕事を

しているとはいえ、自分の手で壁を仕上げるのは、思いのほか大変だったそう。さらに寝室の勾配天井を塗るにあたっては、高い足場を組んでの作業など非常に苦労したが、その充実感もひとしお。そんな思い出も含めて「最高の住み心地の家ができたと思います」というご夫妻の、満足そうな笑顔が印象的だった。

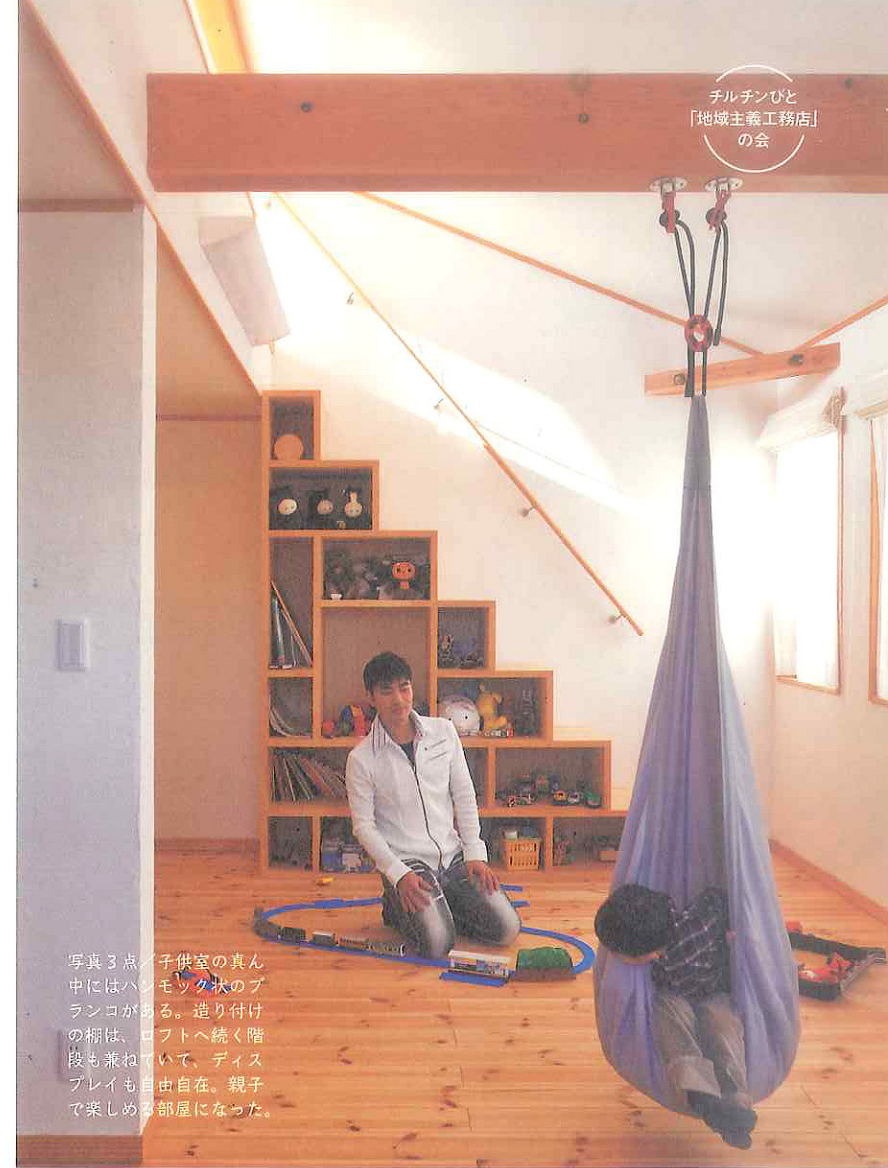
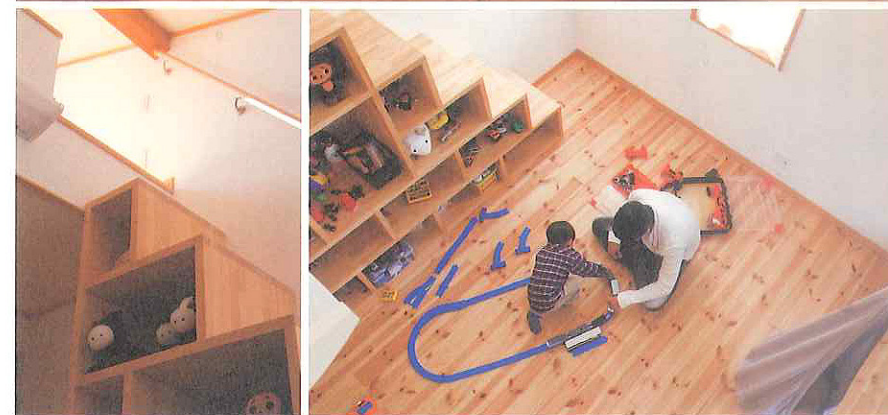


写真3点/子供室の真ん中にはハンモック状のブランコがある。造り付けの棚は、ロフトへ続く階段も兼ねていて、ディスプレイも自由自在。親子で楽しめる部屋になった。



右/2階渡り廊下は木のカウンターを造り付け、琉球畳を敷いた。中/ご主人が珪藻土を塗った寝室。左/日が差し込むロフト。部屋がいっそう広く見える。